杉並区立高井戸第四小学校 学校だより　令和5年度 4月号　令和５年４月６日発行

たかし

http://www.suginami-school.ed.jp/takaido4shou/　杉並区立高井戸第四小学校

令和５年度のスタートにあたって

～「思いやりの心」と「挑戦し続ける心」の育成を目指して～

校長　本橋　忠旗

桜の花の中にも、若葉が芽吹き始め、いよいよ新年度がスタートしました。

この度、加納直樹校長の後を受け、高井戸第四小学校の校長を拝命しました本橋忠旗（もとはし　ただたか）と申します。どうぞ、よろしくお願い申し上げます。

令和５年度　高四小は、新１年生 73 名を迎え、全校児童 444 名、16 学級と通級指導学級（たかし教室・ことばの教室）でのスタートとなります。１・２・４・６年生は３学級、３・５年生は２学級となります。

今年度の学校教育目標は、これまで同様、「進んで学ぶ子」「心豊かな子」「たくましい子」「協働する子」としています。中でも「心豊かな子」「たくましい子」を重点目標として、目指す児童像を「自ら未来を切り拓き心豊かでたくましい児童」としました。高四小のこれまでの教育活動を大事にしながら、卒業を迎える時には、すべての子が自分の将来に明るい希望と勇気をもって巣立つことができるよう、教職員一同尽力してまいります。

さて、これからの社会は、世界規模の様々な関係性の中で物事が進行し、先を見通すことが困難であるとされています。こうした流れの中で、子供たちには、主体的に感性を働かせて、他者と協働しながらよりよいもの、より豊かなものを創りあげていくことが求められています。

よりよい学校生活に作っていくために、始業式では、「よいクラスやよい学年、よい学校は誰かが作ってくれるものではなく、一人一人が努力をして創りあげていくもの」という話をしました。入学式では、１年生に「学校生活のあいうえお」について紹介しました。

この言葉の背景には、「思いやりの心」と「挑戦し続ける心」があります。「思いやりの心」には、「相手意識と想像力」が必要です。「挑戦し続ける心」には、「自信と勇気と安心」が必要です。子供たちが、仲間と共に主体的に充実した学校生活を作っていくことができるよう、次の基本方針に基づいて、高四小の教育活動をスタートさせていきたいと思います。

＜教育活動の基本方針＞

- 学級や学校に対する子供の所属意識や自己肯定感を高める指導の工夫
- 心身ともに安心して過ごせる学習・学校環境の整備
- 学ぶ楽しさの実感を伴う授業の工夫
- 個に応じた指導の工夫
- 体験や地域人材を生かした学習機会の充実
- ＩＣＴ機器と学校図書館のバランスの取れた学習活動

小学校期は、人格形成の基礎となる時期です。その時期に、学校と家庭が同じ方向を向き、共に手を携えていくパートナーシップはとても重要です。子供たちと過ごす一日一日を大切に積み重ね、私たち大人が子供たちのよき道標となって見守っていきたいと思います。皆様のご理解とご協力をどうぞよろしくお願いいたします。

＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊

《４月からの感染症対策と学校運営について》

区のガイドラインにより４月１日からの感染症対策と学校運営に変更があります。

・マスクの着用について…感染症対策を講じながら、マスクを外すことを基本とします。
・健康観察について・・・ 健康観察は、毎日ご家庭で行っていただきますが、健康観察記録用紙の提出は不要です。
・給食について・・・・・ 区のガイドラインは対面での喫食も可となっていますが、本校では様子を見ながら実施していきます。